

# 全自交労連東京地連

2014年8月20日(水)午後1時から、第4回全自交東京地連中央委員会が千駄ヶ谷の全自交会館で行われました。  
 斉藤副委員長より開会の挨拶があり、次に大会議長、書記の選任が行われました。  
 大会議長には日交労の棚橋 誠氏、書記には東洋交通の筒井 守氏が任命されました。



## 【大和田委員長の挨拶】

「4月に東洋交通労組とライオン交通労組の2単組が加盟。7月には、三和交通労組が加盟し、全自交東京地連がやっと本格的に動き始めました。

特定地域、準特定地域の議論が一向に進展しない状況です。改正タクシー適正化新法の目的、東京地区の地域協議会の早期開催など求めて行くために、労使が一体となって真剣に考えなくてはなりません。

これからは、3単組の加盟で更に力をつけた全自交東京地連が、タクシー労働者の代表として労働運動を進めて行きたいと思っております、述べました。



挨拶する、全自交東京地連  
大和田委員長

## 【資格審査発表】

執行部18名中、16名の出席。  
 中央委員20名中、16名の出席。  
 (うち委任状が3名分)

全自交東京地連規約第25条、それぞれの構成員の3分の2以上の出席により、今中央委員会が成立したことを、溝上資格審査委員長が発表しました。

## 【議事】

今、中央委員会の議事について、直井書記長から説明がありました。

●第117回 全自交東京地連定期大会  
 運動方針(案)の確認

- ①情勢について
- ②組織の確認・拡大について
- ③2014年度運動方針案について
- ・特定地域への指定について
- ・地域協議会の活性化
- ・タクシー産業の活性化への施策
- ・適正なタクシー運賃について
- (初乗り運賃値下げ問題など)
- ・公共交通機関としての自覚
- ・待機車両の問題
- ※実車時のバスレーン問題
- ※公共トイレ周辺の駐車場問題
- 大会代議員の構成人員の確認
- 街頭宣伝行動の実施について
- 9月11日に地連傘下の5単組で70名を動員して各場所を実施する。

## 日交労赤羽支部、ライオン交通労働組合との合同宣伝行動(東京駅) 2014年8月21日(木)AM8:30~

2014年8月21日(木) 東京駅で利用者・乗務員へ宣伝行動  
 『賃金・労働条件の改善と安全・安心・快適な輸送の実現を訴える』

東洋交通労働組合と日交労働組合赤羽支部、ライオン交通労働組合は、8月21日(木)東京駅において「ピラ」ポケットティッシュの配布を行いました。  
 当日は35度を超える猛暑の中、3単組合計22名の役員・組合員が参加して、丸の内と八重洲の利用者・通行人・乗務員へのティッシュの配布と、利用者への誘導・ドアサービスと、乗り場・待機場の清掃を行いました。  
 3単組は8時半に、日交労赤羽支部の曾我支部長が丸の内を意識統一を行い、「政治の中心である東京において利用者・通行人と乗務員に賃金・労働条件の改善を訴えて行くことが、東京地連に所属する組織の役割です。ティッシュの内容を読んで、質問にも答えられるように、心を込めて配布を御願います」と挨拶を行いました。  
 8時30分から9時30分まで宣伝行動を行い、丸の内と八重洲で合計3,000個のポケットティッシュを配布し、東京駅のタクシー乗り場を利用する乗務員には、全自交労連が作成した「ピラ」を27枚を配布し、「改正法を実効性あるものとして、適正台数と適正な運賃を実現し、悪質事業者を排除しながら労働条件改善が実現できるまで私たち全自交と共に声をあげましょう」と訴えました。



全員(日交労【赤羽支部】・ライオン交通労組・東洋交通労組)で、目的をしっかりと確認してから行動しています。

『タクシープールでの清掃活動』や『ドアサービス』『ラゲッジサービス』を行い、利用者へタクシーの『良さ』を訴えています。

